片桐英数塾通信

大きく成長するために

Stay hungry. Stay foolish.

梅雨の重ったるい空を眺めていると、気分まで重ったるくなるのですが、やがて、あの雲の切れ間から、真夏の太陽が顔を出すのでしょう。もう夏がやってきます。

夏なのだから「夏を制する者が受験を制する」というようなことを書くべきなのでしょうが、前号でそんな感じの内容を書いてしまったこともありますので、ちょっと別のことを書いてみます。

梅雨空が青空に変わる頃、高校野球の地区予選は始まります。私個人としては、肩を壊し高2の冬に退部してしまった身ですが、かと言って一度は高校野球に揉まれたことのある人間としては、どうしても「あぁ、また県予選が始まるんだな…。」と、野球を思い出してしまいます。

野球を思い出していると、つい思い出してしまうのが「ノック」と呼ばれる練習です。「ノック」とは守備練習の一つで、ノッカーがボールを打ち、それを野手が捕球するというものです。野手はボールに集中し、来たボールに素早く反応し、捕球する。時に、難しいボールが送られてくるけど、それでも体を全力で運び、腕を精一杯に伸ばし、ボールに飛びつく。あと少しで捕れそうなのに捕れない。ノッカーからは「もう終わりか～！」とあびせられる。捕れなくてとても悔しいという思いと、何だか腹が立つような気持ちで「まだまだ～！」と叫ぶ。そして、また難しいボールが送られる。無我夢中で飛びつく。伸ばしたグローブの先に、今度はボールが収まっている。たまらなく嬉しい・・・。

今年の春頃に、ある塾生と雑談をしておりました。その中で、その塾生から「Stay hungry. Stay foolish.」という言葉を教えてもらいました。何でも、かのスティーブ・ジョブズのお言葉らしく、それはそれは深い意味のある言葉なのでしょうが、「空腹でいろ。バカでいろ。」と直訳してしまった私は、最初、そのありがたみが分からず、しばらくの間、頭を抱えておりました。しかし、かのスティーブ・ジョブズがそんなことを言うはずもないでしょうから、その本意たるや・・・、ムムムムム・・・。

言葉を額面どおりに受け止め、「いやぁ、さすがに空腹は嫌だから勘弁していただきたい。けど、バカでいろって言われりゃ、その方が気が楽だし・・・」などと考えてはいけませんよ。この言葉の本意は、恐らくそんなことじゃありません。

仮に「Be hungry. Be foolish.」にしてみるとどうなるのか？「飢えろ。バカになれ。」となる。これじゃぁ、正真正銘のバカにしかならん…。やっぱり、〝stay〟が効いています。〝stay〟だと、自分の意思でコントロールしようとするニュアンスが出ます。だから、「満たされていても、自分の意思でハングリーでいろ。知識を得ようとも、自分の意思でバカでいろ。」という意味になるんだと思います。

「Stay hungry.」については、「ハングリー精神」という言葉をよく耳にするので、感覚的に理解できます。しかし、なぜ「Stay foolish.」なのか。そこがなかなか腑に落ちてきません。

ノッカーがボールを打つ。そのボールのコース、スピード、スピン、バウンドの状況を見て、「このボールは自分には捕球できない。」ということをそれまでの練習の中で学んでいて、その考えが固定化してしまっているとどうなるのか？ 恐らく、その捕れそうにないボールを見た瞬間に、「自分には無理だ。」とそのボールに向かうことすら諦めてしまい、ただ見送るだけになるでしょう。しかし、それは本当に自分には捕れないボールなのか？ もし、捕れるボールだったとしたら？ やはり、それまで学んできた固定化したものをいったん無にし、思い切って、バカになって、捕れそうにないそのボールに全力で飛びついてみないと始まらない。これが「Stay foolish.」なのだと、自分的には解釈しております。

最近、漠然と感じていることですが、「自分には無理だ。」という見切りがとても早くて、頑張れば捕れるかもしれないボールを見送る中高生が多くなっているような気がしています。もちろん、私が漠然と感じていることなので、実際はそうではないのかもしれません。しかし、「自分は○○だから・・・。」と、自分のことが全て分かっているように話す中高生を見て、どうしても私は不思議に思うことがあります。他人のことは割と分かるのですが、自分のことなんて、簡単に分かるものではない、ましてや人生経験の少ない中高生に本当の自分自身が分かるとは思えない。それなのに、「これ以上は無理。」と、さも自分の限界が分かったような判断をする人がいる。これについては心底考え込んでしまいます。

将来のこと、未来のこと、今の世の中のことを授業で話すと、今の子供達の心が浮き彫りに見えてきます。緊張した表情になる子、怒った表情になる子、悲しそうな表情になる子。このような表情をする子が多い。つまり、未来のことや世の中に対して、プラスのイメージを持っている子は少ないということだと思います。この世の中を見て、経済大国と言われていた時代と比べてみると、人生の成功の方程式、例えば、良い大学に進学し、良い就職をし、たくさんお金を得て、安定した人生を送るというような、昔ながらの成功の方程式を今の世に見出すことは難しい。確たる成功の法則も無いという不安は想像以上に人を守りに誘うものだと思います。

不安があるとなかなか思い切った行動ができません。だから、自分にできるかどうか分からないことを思い切ってやって失敗するくらいなら、確実にできることだけをやろうとしてしまう。それは自然の成り行きなのかもしれません。

しかし、自分にできると思うことだけをやっていては、自分の限界なんて超えられるはずがない。いつまでたっても自分の殻は破れない。内に小さくまとまっていくばかりです。

もっともっと成長したい、大きくなりたい、世の中の役に立ちたい。こんな願いはみんなが心に持っている願いだと思います。しかし、小さくまとまるような行動しかできなくなってしまうと、この願いも叶えられるものではない、と思います。自分の殻を突き破っていくガッツがなければ、何も始まらない。

今の自分の限界に満足してしまっては、今の自分以上の自分にはなれません。もっとhungryになるべきです。また、自分を分かったような気になるのもまだまだ早い。もっとfoolishになり、全力で飛びつくべきです。

中高生という今だからこそ、失敗を避ける利口さよりも、失敗を乗り越えようとするガッツが必要です。

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com

KATAGIRI
KATAGIRI English and Mathematics School

天王山の夏どう過ごす？ 塾を200%活用しよう！

『受験勉強の出遅れを挽回したい。』『志望校を妥協したくない！』『各教科万全にしておきたいけれど何をやっていいか迷っている』という皆さん、夏休みをぜひ充実させましょう！ポイントを絞り込んだ河合サテライト講座なら短期間での速習受講も可能！映像授業＋問題演習で効率良くレベルアップしていこう。体験受講してみたいという人は、自宅でも各講座の紹介ビデオを見ることができます。

詳しくは、坂本教室まで気軽に相談に来てください！

「中3夏期100時間特訓」 「中1中2夏期特別講習」 受講生募集！

坂本教室では中1～中3生を対象に夏休みの夏期特別講習を開講します。

◎重要事項の徹底復習＋確認テスト

中3生は国英数理社の5教科、中1・2生は英語・数学の2教科
基礎力の徹底を図るとともに、実戦演習で応用力をつけます。

◎個別受講システムを利用した苦手教科克服（5教科対応）

基礎から発展まで個人の学力レベルに応じた映像授業を個別に受講。また学力トレーニングシステムを利用して問題演習。理解が不十分な単元は繰り返し学習し、できるようになるまでトレーニングします。これで苦手科目を徹底して克服しましょう。

◎香川県統一模擬試験の実施 希望者のみ

中3生は5教科、中1・2生は3教科実施。県内全ての高校の志望校判定ができます。

※ 締め切りは7月14日です。詳しくは坂本教室まで。

坂本教室からのお知らせ

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願いします。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

＊坂本教室の7月の休日は、
1日(日) 8日(日) 15日(日) 22日(日) 29日(日)です。

HPｱﾄﾞﾚｽ http://www.katagirijuku.com
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ katagirijuku@docomo.ne.jp